

# 東京応化工業株式会社 決算説明会資料

-2022年12月期決算-



2023年2月14日  
東京応化工業株式会社

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 目次

---

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 2022年12月期業績      | p.2  |
| 2. 2023年12月期業績予想    | p.13 |
| 3. tok中期計画2024の進捗状況 | p.21 |



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 2022年12月期業績

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 業績概要

03

(百万円、%)

	2021/12		2022/12	
			増減	増減率
売上高	140,055	175,434	+35,379	+25.3
営業利益	20,707	30,181	+9,474	+45.8
経常利益	21,664	30,966	+9,302	+42.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	17,748	19,693	+1,945	+11.0
EBITDA	27,138	36,943	+9,805	+36.1
ROE	11.5%	12.1%	+0.6	—

期中平均為替 (USドル) : 109.0円/ドル (2021/12) ⇒ 130.6円/ドル (2022/12)

- 売上高 : 旺盛なレガシー半導体需要や、最先端プロセス向けで材料事業の売上が好調に推移し、前年比25.3%増収。
- 営業利益 : 高付加価値製品の売上増加に加え、高純度化学薬品の売価調整や為替による効果も加わり前年比45.8%増益。
- 当期純利益 : 特別利益が減少したものの、営業利益の増加により、前年比11.0%増益。

過去最高業績を3期連続で更新。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 営業外損益・特別損益

04

(百万円)

	2021/12	2022/12	増減
営業外損益	956	784	△172
受取利息・配当金	+530	+644	+114
為替に係る差損益	+314	△46	△360
為替差損益	+477	+280	△197
デリバティブ評価損益	△162	△326	△164
特別損益	4,135	△176	△4,311
投資有価証券売却益	+4,820	+243	△4,577
減損損失	△439	△195	+244
固定資産除却損	△163	△239	△76
環境対策費	△83	—	+83



© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 事業別セグメントの業績

05

(百万円、%)

	2021/12		2022/12	
			増減	増減率
売上高	140,055	175,434	+35,379	+25.3
材料事業	137,725	170,329	+32,604	+23.7
IL/外ロニクス機能材料	79,491	91,868	+12,377	+15.6
高純度化学薬品	57,804	77,460	+19,656	+34.0
その他	430	1,000	+570	+132.5
装置事業	2,329	5,105	+2,776	+119.1
営業利益	20,707	30,181	+9,474	+45.8
材料事業	26,438	34,755	+8,317	+31.5
装置事業	△290	790	+1,080	黒字化
消去又は全社	△5,440	△5,364	+76	—

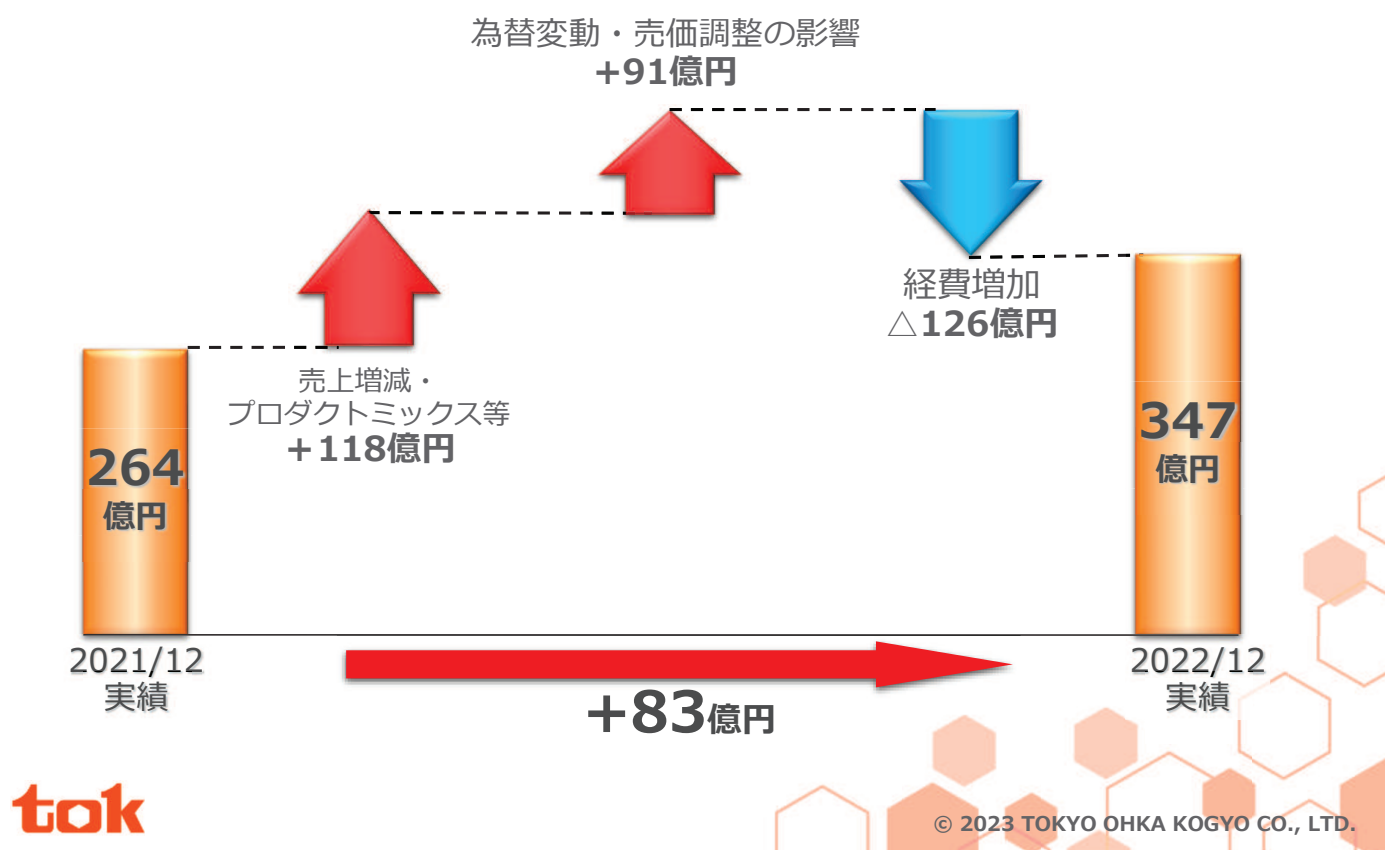


© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 営業利益の増減内訳（材料事業）

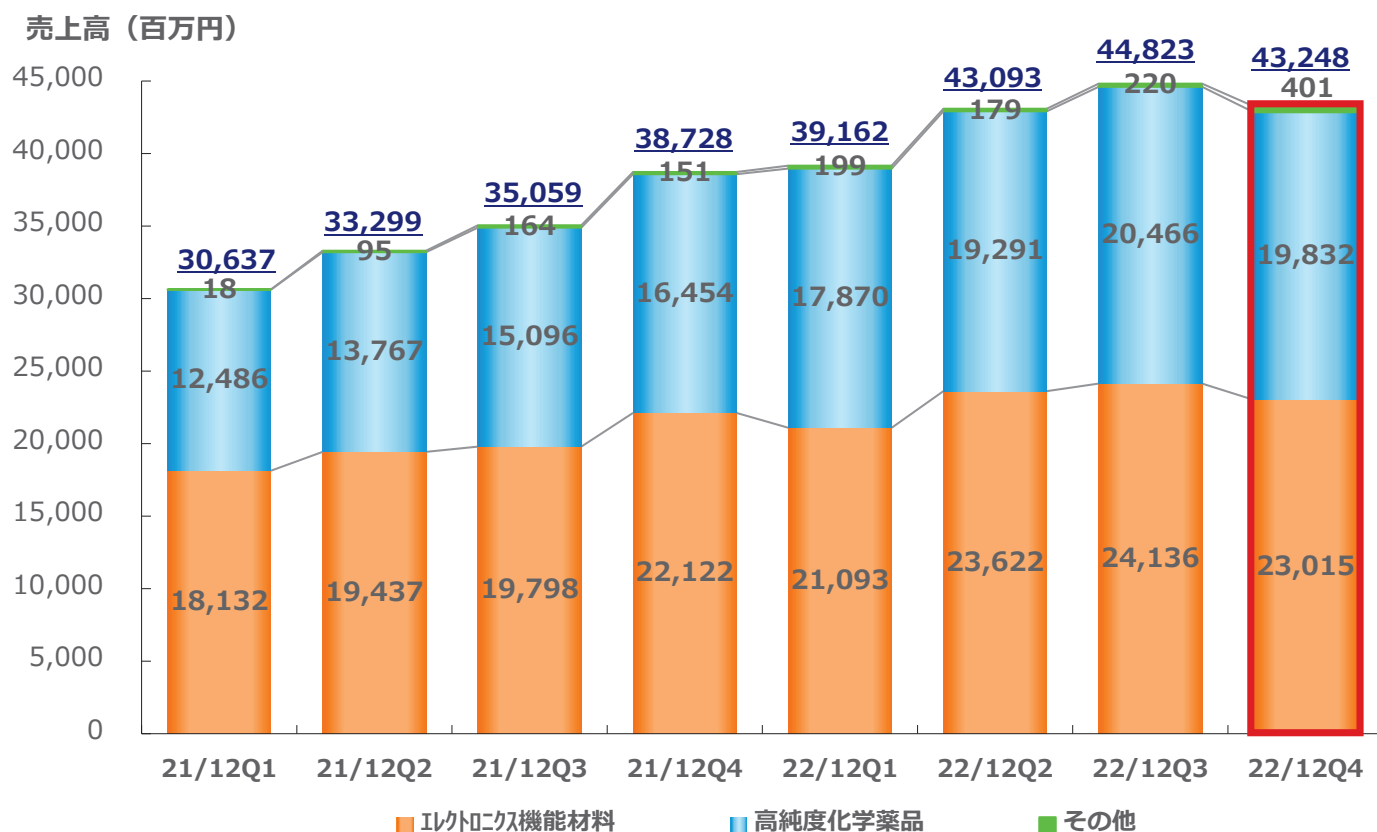
06

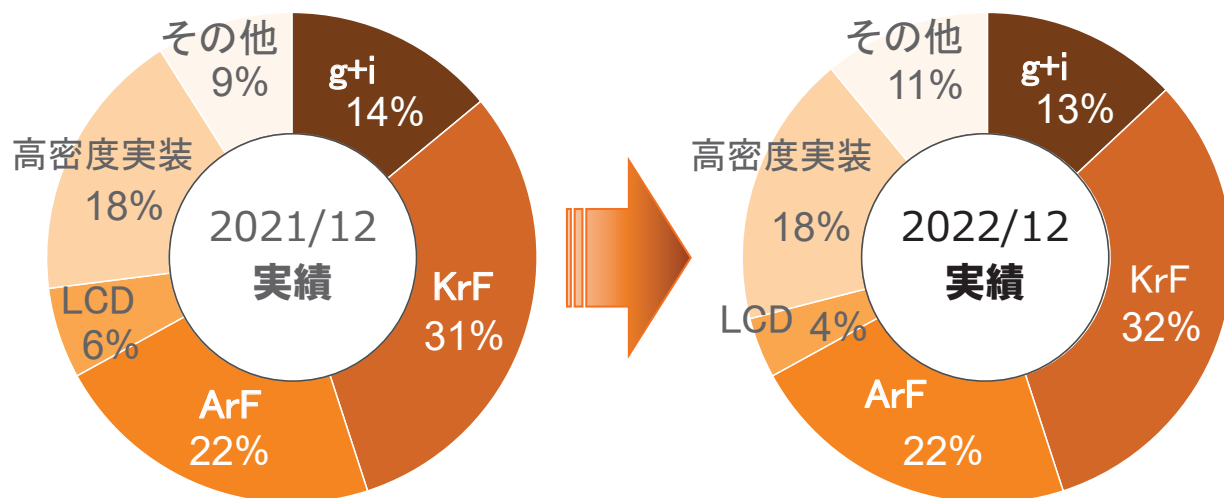
2021年12月期実績 対 2022年12月期実績



## 材料事業の売上内訳（部門別）

07





(注1) EUVはその他に区分。

(注2) 高密度実装：パッケージ材料、MEMS材料。

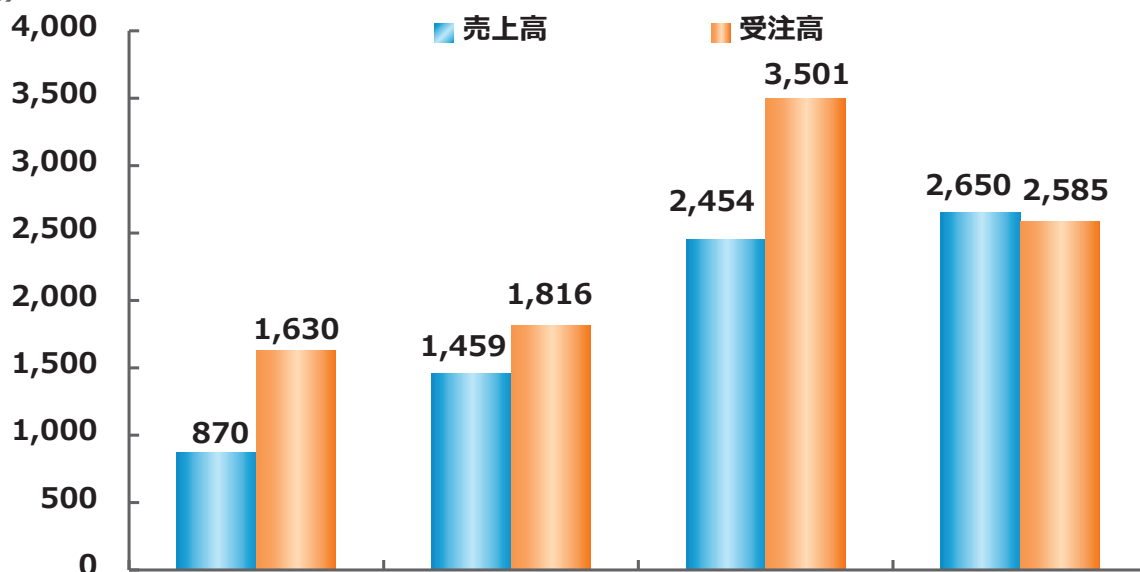
**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 装置事業

09

売上高・受注高  
(百万円)



(百万円)	21/12上期	21/12下期	22/12上期	22/12下期
期末受注残高	1,535	2,331	3,900	4,385

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

(百万円、%)

	2021/12	2022/12	
		増減	増減率
設備投資	8,488	14,514	+6,026 +71.0
減価償却費	6,430	6,762	+332 +5.1
研究開発費	9,800	11,038	+1,238 +12.6

(注)2022年度から無形固定資産等を含めて表示しております。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 比較貸借対照表

11

(百万円)

	2022/12	21/12末比	
流動資産	130,636	+11,752	
現金預金	55,371	△1,464	主な内訳 建物及び構築物 +5,250 工具、器具及び備品 +2,503 土地 +1,908 建設仮勘定 △331
売上債権	35,812	+1,916	
棚卸資産	30,006	8,655	
有形固定資産	66,010	+9,077	主な内訳 投資有価証券 △408 退職給付に係る資産 △975 繰延税金資産 +671
無形固定資産	1,295	+458	
投資その他の資産	40,133	△477	
流動負債	40,781	+1,125	主な内訳 短期借入金 △3,900 未払金 +2,675
買入債務	21,617	+2,367	
固定負債	16,333	+3,916	主な内訳 長期借入金 +3,510
純資産合計	180,960	+15,769	主な内訳 利益剰余金 +12,745 為替換算調整勘定 +3,258
総資産	238,075	+20,811	

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

	(百万円)	
	2021/12	2022/12
営業キャッシュフロー	+19,758	+18,991
税金等調整前当期純利益	+25,799	+30,790
減価償却費	+6,430	+6,762
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 6,052	△858
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 2,830	△7,510
仕入債務の増減額(△は減少)	+4,515	+1,870
法人税等支払額又は還付額 (△は支払)	△ 4,650	△8,557
投資キャッシュフロー	△ 4,576	△12,383
財務キャッシュフロー	△ 18,114	△8,610
換算差額	+1,673	+1,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,258	△612

主な内訳  
有形固定資産の取得 △10,698  
投資有価証券の取得 △2,082

主な内訳  
長期借入金の返済による支出 △4,289  
配当金の支払 △9,102  
(含む非支配株主)

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 2023年12月期業績予想

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# AIメカテック社との協業について

新たな事業パートナーであるAIメカテック株式会社と共に、

## M&E戦略の発展を目指す！



Zero Newton®



### ◆ 各種契約状況

事業譲渡に関する株式譲渡契約

協業基本契約

: 締結済み

### ◆ 株式取得情報

取得日:

2022年9月30日

取得株式数:

1,101,500株

総株主の議決権に対する割合: 19.56%\*

\* 総株主の議決権の数に対する割合は、AIメカテックの2021年6月30日現在の総株主の議決権の数（56,300個）を分母として計算（小数点以下第三位を四捨五入）しております。

### ◆ 今後の予定

装置事業の譲渡完了予定日: 2023年3月1日

### AIメカテック株式会社 概要

所在地: 茨城県龍ケ崎市

資本金: 4億5千万円

事業内容: 電子部品製造装置、周辺機器の

設計・製造・販売及び

アフターサービス

代表者: 代表取締役社長 阿部 猪佐雄

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 装置事業譲渡に伴うセグメント開示の変更について

### 22年度までのセグメント

### 23年度以降のセグメント

材料事業	22年度までのセグメント		23年度以降のセグメント	
	エレクトロニクス機能材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 半導体用フォトレジスト (g/i線・KrF・ArF)</li> <li>● 高密度実装材料 (パッケージ材料・MEMS材料)</li> <li>● LCD材料 (TFT材料・CF材料)</li> <li>● その他 (EUV・その他)</li> </ul>	エレクトロニクス機能材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 半導体前工程用フォトレジスト (レガシー材料・KrF・先端材料)</li> <li>● 半導体後工程関連材料 (パッケージ材料・MEMS材料・WHS*関連材料)</li> <li>● ディ스플레이材料・その他 (TFT材料・CF材料・その他)</li> </ul>
装置事業	高純度化学薬品	● シンナー・現像液・洗浄液	高純度化学薬品	● シンナー・現像液・洗浄液
	その他	● WHS*関連装置 ● プラズマアッシング装置 ● その他装置	その他装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WHS*関連装置 (2023年2月28日まで)</li> <li>● プラズマアッシング装置 (2023年2月28日まで)</li> </ul>

**2023年3月1日より  
AIメカテック社へ事業譲渡**

(注1) レガシー材料: g、i線レジスト等  
(注2) 先端材料: ArF・EUVレジスト等

\*WHS: ウエハハンドリングシステムの略



# 業績予想概要（通期）

16

（百万円、％）

	2022/12		2023/12	
			増減	増減率
売上高	175,434	187,500	+12,066	+6.9
エレクトロニクス機能材料*	92,799	98,750	+5,951	+6.4
高純度化学薬品*	77,565	86,150	+8,585	+11.1
その他*	5,069	2,600	△2,469	△48.7
営業利益	30,181	31,000	+819	+2.7
経常利益	30,966	31,600	+634	+2.0
親会社株主に 帰属する当期純利益	19,693	19,400	△293	△1.5
EBITDA	36,943	38,300	+1,357	+3.7
ROE	12.1%	11.0%	△1.1	－

期中平均為替（USドル）：130.6円／ドル（2022/12）⇒125.0円／ドル（2023/12）\*2022年12月期は、新セグメントに換算した数値。

- 売上高：下期から半導体需要の回復を見込み、前年比6.9%の増収を予想。
- 営業利益：高付加価値製品の売上増加などにより、前年比2.7%増益を予想。
- 当期純利益：営業利益は増加するものの、事業再編費用の計上を見込み前年比1.5%減益を予想。

**tok**

売上高、営業利益、経常利益の最高業績を4期連続で更新を予想。

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 設備投資・減価償却・研究開発

17

（百万円、％）

	2022/12		2023/12予想	
			増減	増減率
設備投資等	14,514	18,600	+4,086	+28.1
減価償却費	6,762	7,300	+538	+8.0
研究開発費	11,038	12,850	+1,812	+16.4

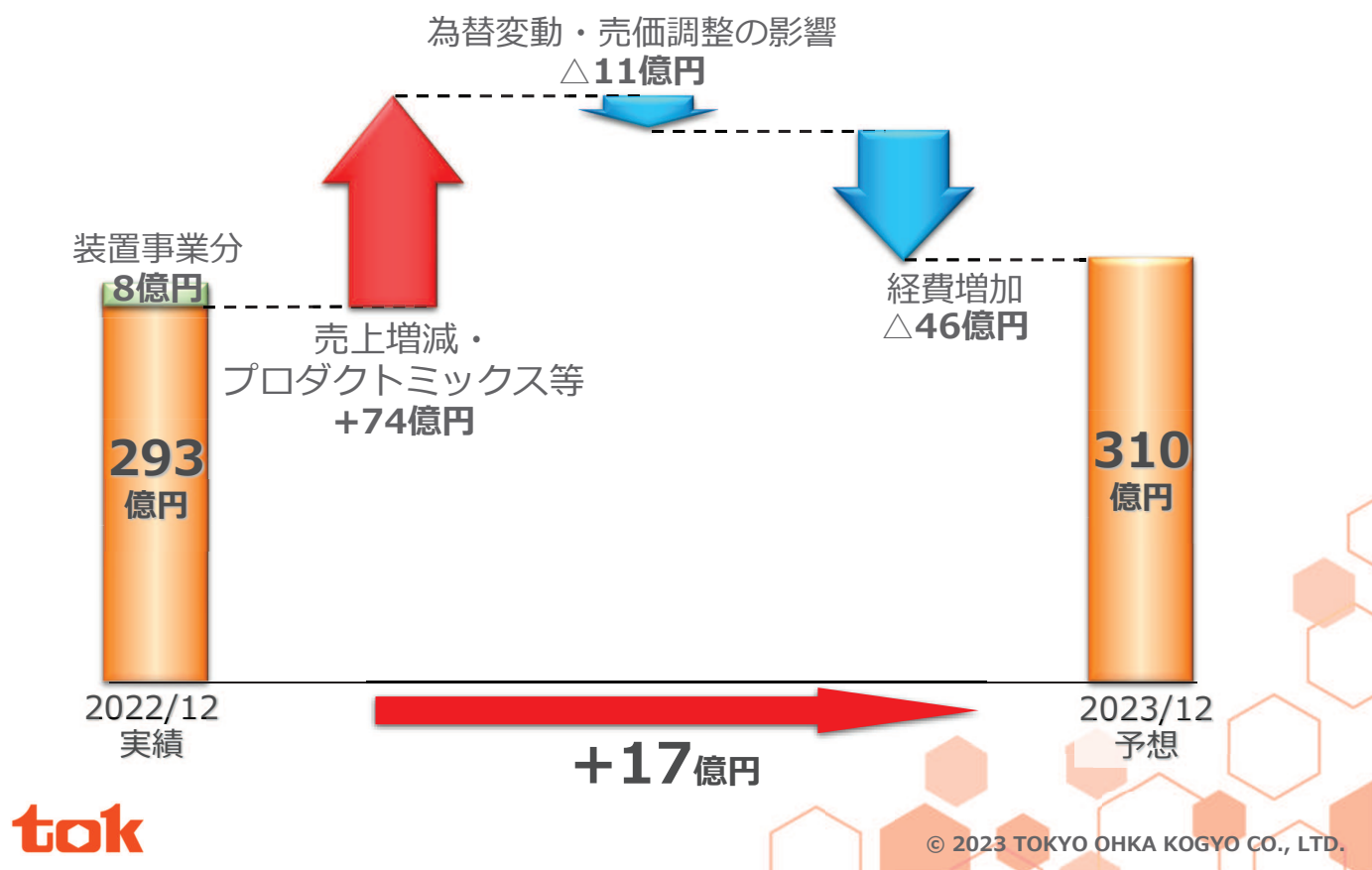
**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

# 営業利益の増減内訳

18

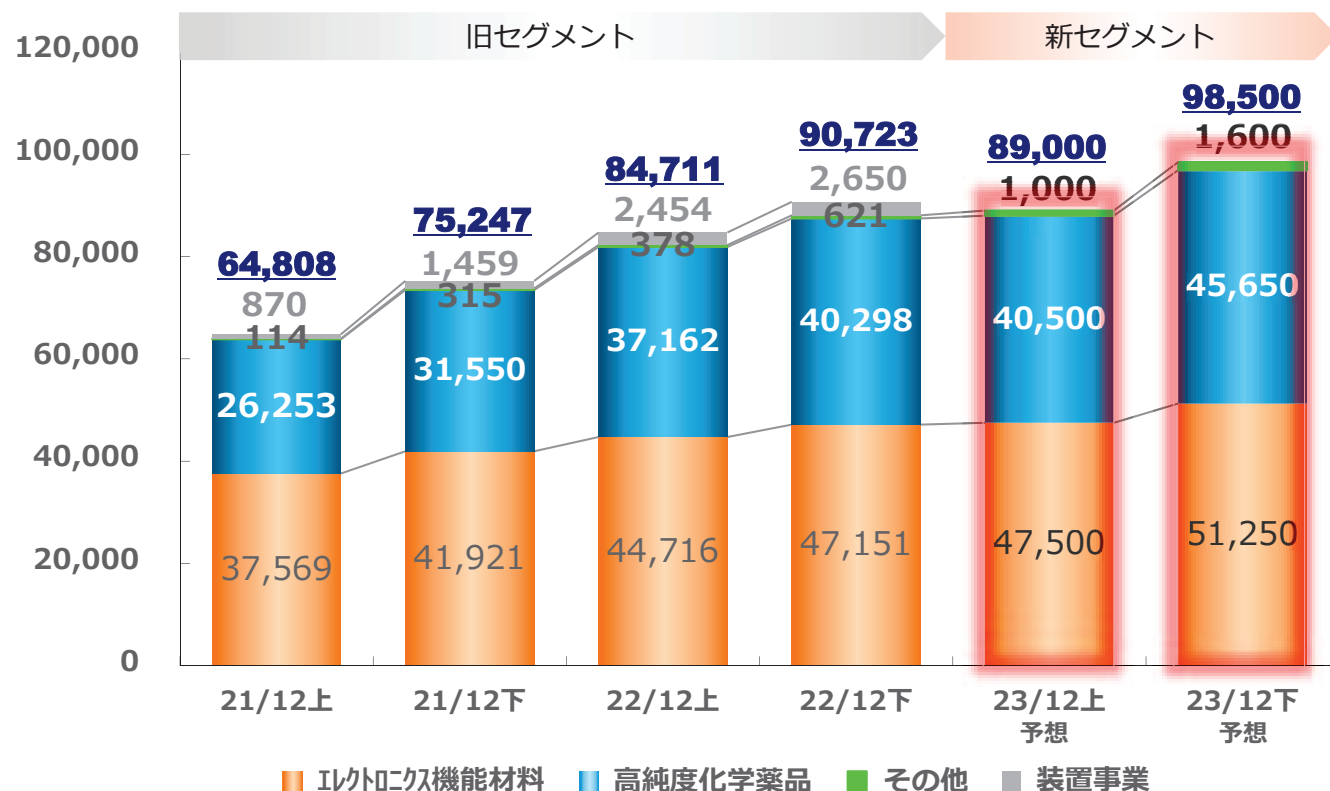
## 2022年12月期実績 対 2023年12月期予想



## 売上予想：部門別

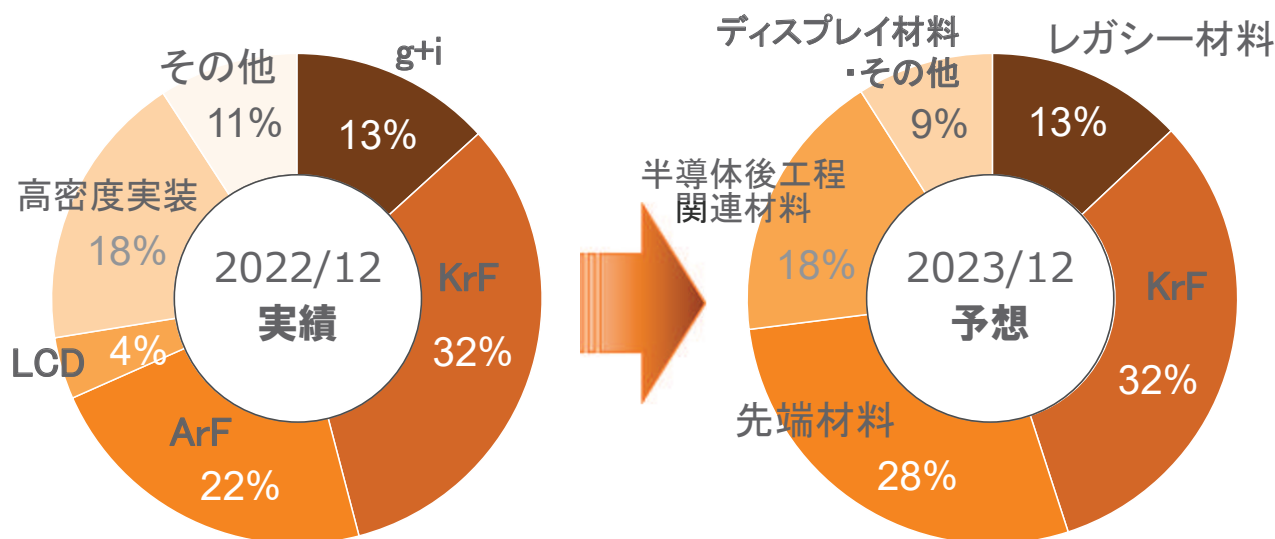
19

売上高 (百万円)



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



(注1) 2022年12月期は、旧セグメントで計算。  
 (注2) 2022年12月期は、EUVはその他に区分。  
 (注3) 高密度実装：パッケージ材料、MEMS材料。

(注4) 2023年12月期は、新セグメントで計算。  
 (注5) レガシー材料：g、i線レジスト等。  
 (注6) 先端材料：ArF・EUVレジスト等。  
 (注7) 半導体後工程関連材料：パッケージ材料、MEMS材料、WHS関連材料。  
 (注8) LCD材料を、ディスプレイ材料・その他に区分。

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## tok中期計画2024の進捗状況

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

想定した社会変化に4つの分野で貢献  
更なる成長を目指す



## tok中期計画2024 ポイント

TOK Vision 2030を実現するための中期計画

### 経営ビジョン

豊かな未来、社会の期待に化学で応える

**“The e-Material Global Company®”**

### 中期計画戦略

- (1) 先端レジストのグローバルシェア向上
- (2) 電子材料および新規分野でのコア技術の獲得/創出
- (3) 高品質製品の安定供給とグループに最適な生産体制の構築
- (4) 従業員エンゲージメントを向上させ人を活かす経営の推進
- (5) 健全で効率的な経営基盤の整備

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



tok

## ■ 業績目標

中計目標  
2024/12期2022/12期  
実績2023/12期  
予想

売上高

1,800億円以上

1,754億円

1,875億円

- 半導体減産などの影響を考慮しつつも、堅調な半導体需要や、円安に推移する為替の効果も見込み、1年前倒しで計画を達成できる見込み。

営業利益

270億円以上

301億円

310億円

- 半導体前工程用フォトリソ等の高付加価値製品の売上増加、高純度化学薬品の売価調整、為替による効果により2年前倒しで目標を達成。

EBITDA

350億円以上

369億円

383億円

- 営業利益の増加に加え、将来の半導体需要に応えるための積極的な投資を敢行。キャッシュ創出力が向上。

ROE

8.0%以上を維持

12.1%

11.0%

- 利益率改善と株主還元、BSマネジメントの推進による着実な改善。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## ■ 設備投資額・減価償却費・研究開発費の進捗

単位：億円	tok中期計画2024 3カ年累計当初計画	2022/12月期 実績	2023/12月期 予想
設備投資額	450	145	186
減価償却費	220	67	73
研究開発費	330	110	128

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

	中期計画 取組み/目標	進捗状況
半導体前工程用 フォトレジスト (旧半導体用フォトレジスト)	<b>高まる半導体需要</b> に対して フルラインナップで販売拡大	ArF/EUV : <b>シェア拡大</b> に向けた活動を推進 KrF : 先端半導体・3D-NAND・ レガシー半導体向けで <b>好調に推移</b> g/i : レガシー半導体向け等で <b>堅調に推移</b>
半導体後工程関連材料 (旧高密度実装材料)	<b>先端パッケージ技術</b> に 迅速に対応した製品展開	パッケージ材料 : <b>3DIC向け等</b> の研究開発を加速 MEMS材料 : <b>販路拡大</b> に向けた活動を推進 WHS材料 : <b>新たなM&amp;E戦略</b> による拡販
高純度化学薬品	<b>半導体プロセスの高度化と 需要増加</b> に対して アジア・北米で販売拡大	シンナー : グローバルでの <b>供給体制の整備</b> 洗浄液 : <b>新製品開発</b> を加速。 各地域でのシェア拡大。
装置事業	市場ニーズに迅速に対応し <b>販売拡大</b> を目指す	M&E戦略の発展を目指し、 AIメカテック社に事業譲渡予定。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 高品質製品の安定供給と グループに最適な生産体制の構築①

27

将来の需要増加を見越し、  
**エレクトロニクス機能材料の生産体制を強化**

### TOK先端材料株式会社（韓国）

- ・更なる需要増加を見込んだ  
生産増強投資を実施し、新たな  
設備投資を予定。



### TOK/郡山工場（日本）

- ・新検査棟を建設。  
検査設備の拡充を実施。



### TOK/相模事業所（日本）

- ・最先端の研究開発に向けた投資を  
継続的に実施。



tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



## 協力会社との連携を強化し、 最適な高純度化学薬品の供給体制を整備

### TOK/菊池工場（仮）

- ・シンナー/現像液の需要増加を見込み、新たな生産工場を建設予定。

2025年稼働見込み。

### TOKアメリカ社

- ・TOKCCAZ社を設立し、シンナー/現像液の販売体制を強化。

### 台湾東應化社

- ・シンナー/現像液のさらなる生産能力の増強とTOKの販売及び顧客サポート体制の強化を目的に、協力会社に苗栗工場を譲渡。

**tok**

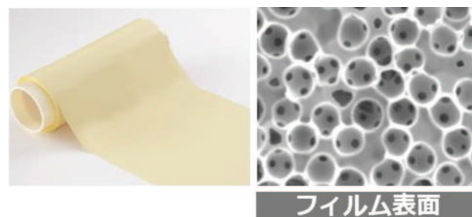
© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## 新規事業（機能性フィルム・光学部材・ライフサイエンス関連材料）

29

### 機能性材料

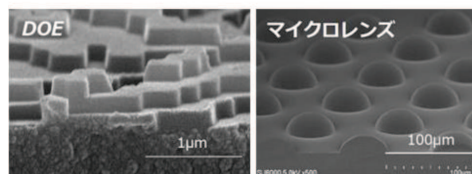
- 高付加価値LiBセパレータ用途での事業展開。
- 高耐久性を活かした用途展開。



フィルム表面

### 光学部材

- AR/VR、3Dセンサー用途に対してプロモーション展開。
- オープンイノベーションによる開発促進。



### ライフサイエンス関連材料

- DNA解析用に販売を継続。
- さらなる需要獲得に向けマーケティングの強化。



**SIEVEWELL**

## 事業化に向けた活動を推進

**tok**

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

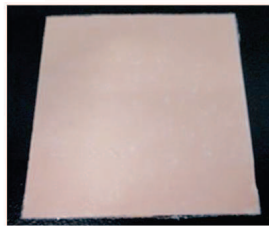
## 輻射型放熱材料（Eco He-A™シリーズ）

- 熱輻射機能による省電力設計が可能（エネルギーフリー）
- 放熱シート設計による小型化と省スペース化が可能
- サステナブルな原料設計



### Eco He-A™シール

Eco He-A™ シート  
(100μm)  
銅  
シール層  
保護フィルム



### Eco He-A™シール

保護フィルム

保護フィルムを剥がして  
熱源に貼るだけ

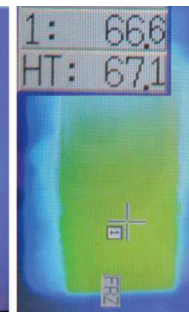
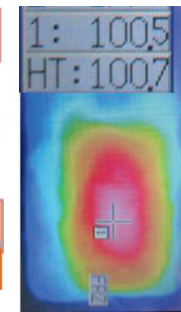
### Eco He-A™シール

熱源

Eco He-A™シールの使い方

Eco He-A™  
シールなし  
ヒーター温度  
100℃

Eco He-A™  
シールあり  
ヒーター温度  
67℃



ホットスポットあり

ホットスポットなし

## 従業員エンゲージメントを 向上させ人を活かす経営の推進

### 持続的な企業価値の向上



人事制度改革

人材育成

働き方改革

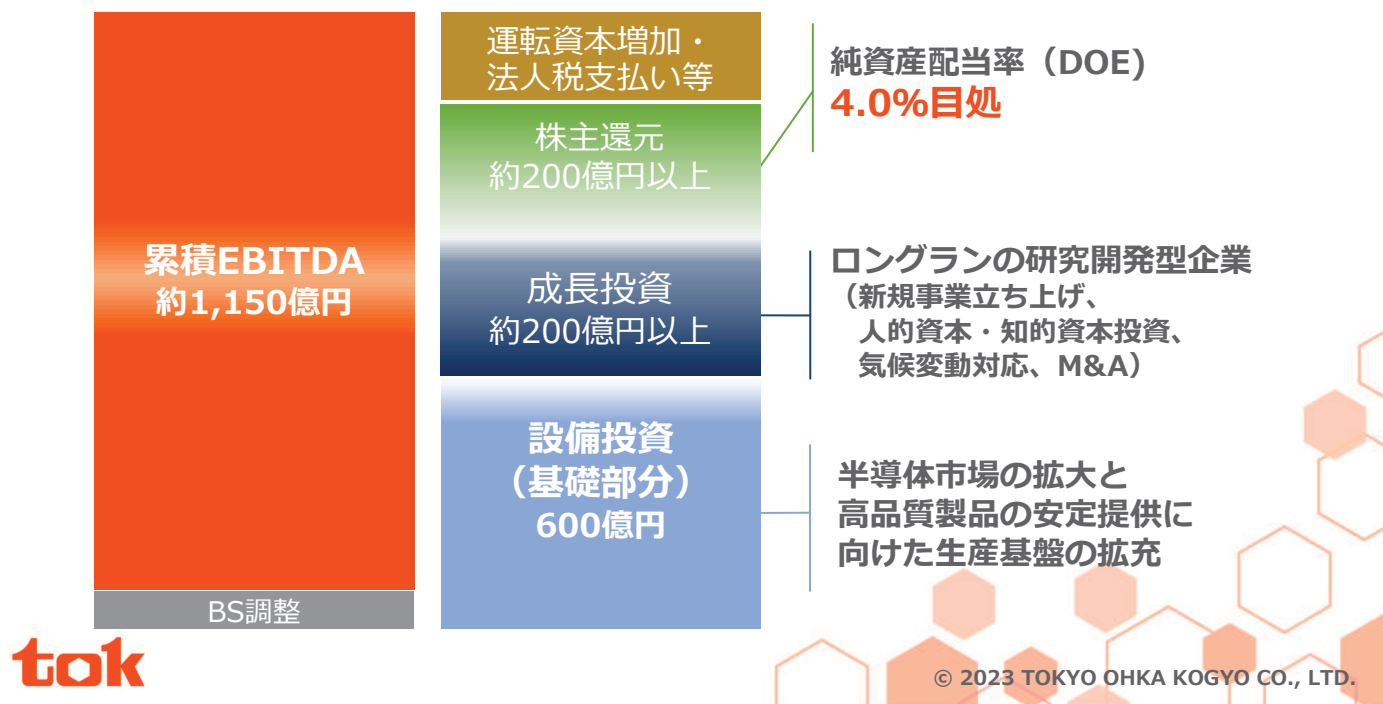
従業員エンゲージメントの向上

従業員エンゲージメント指数  
を役員報酬のKPIに導入



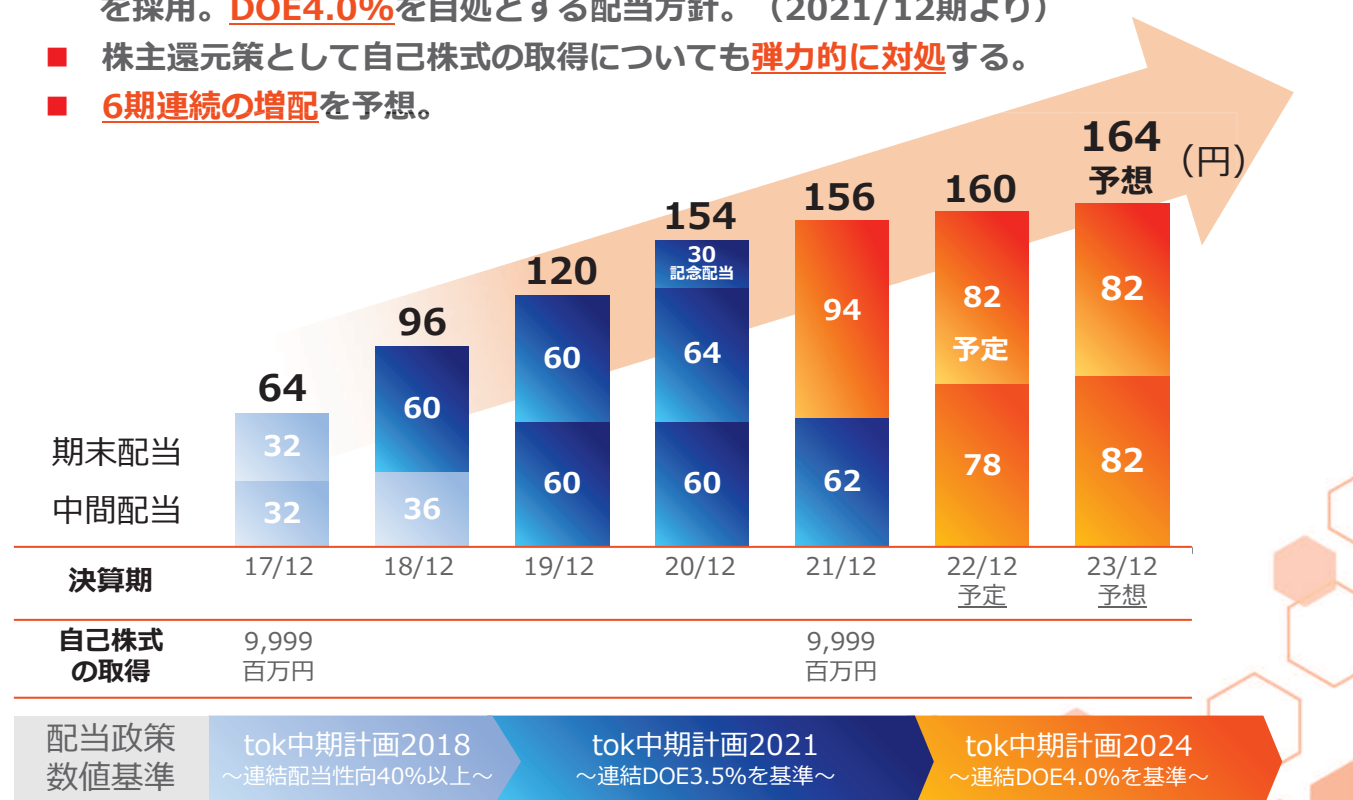
創出したEBITDAは、将来の成長を見据え  
設備投資に投下した上で機動的に株主還元に配分

## 3カ年キャッシュ・フロー計画（イメージ）



## 健全で効率的な経営基盤の整備 <株主還元・配当の推移>

- 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として純資産配当率（DOE）を採用。DOE4.0%を目処とする配当方針。（2021/12期より）
- 株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する。
- 6期連続の増配を予想。



# カーボンニュートラルの実現に向けて

～2050年GHG排出「実質ネットゼロ」を目指し挑戦～

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

## カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年GHG排出「実質ネットゼロ」を目指し挑戦

TOK-J  
CO<sub>2</sub>排出量  
(Scope 1 + 2)

2020年：エネルギー起因CO<sub>2</sub>の原単位  
25%削減達成（2013年比）

日本国内拠点の  
再生可能エネルギー由来  
電力比率 **100%**（2023年）

2030年 CO<sub>2</sub>排出量削減目標  
**15%削減**（2019年比）  
エネルギー起因CO<sub>2</sub>の原単位



高効率な生産施設



社用車として**EV車導入**

気候変動サミット：2030年までに**46%削減**

排出量 CO<sub>2</sub> (万 t-CO<sub>2</sub>)  
原単位指数 (2013年比)

### 脱炭素社会への貢献



パワー半導体向け材料・装置提供



ケミカルループの開発



サーキュラエコノミーの拡大

2013年 2020年 2030年 2040年 2050年

除去量

CO<sub>2</sub>吸収

tok

TCFD

TASK FORCE ON  
CLIMATE-RELATED  
FINANCIAL  
DISCLOSURES

Semiconductor  
Climate Consortium  
FOUNDING MEMBER

35



豊かな未来、社会の期待に化学で応える  
“The e-Material Global Company®”

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

[www.tok.co.jp](http://www.tok.co.jp)

＜ご注意＞

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

tok

© 2023 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.